

領解文

安心

もろくの雜行雜修自力のまゝとて  
とて一心に阿弥陀如来我等が今度の  
一大事の後生御たすけ候へとのみ  
して候たのむ一念のとき往生一定御た  
とけ治定と存

安心

真諦

報謝

おのうへの稱名は御恩報謝とぞん  
よほあひ申候

師徳

おの御まごころり聽聞まごころりわけ候事御  
開山聖人御出世の御恩次第相承の善  
知識のゆゑからさる御勸化の御恩と

行狀

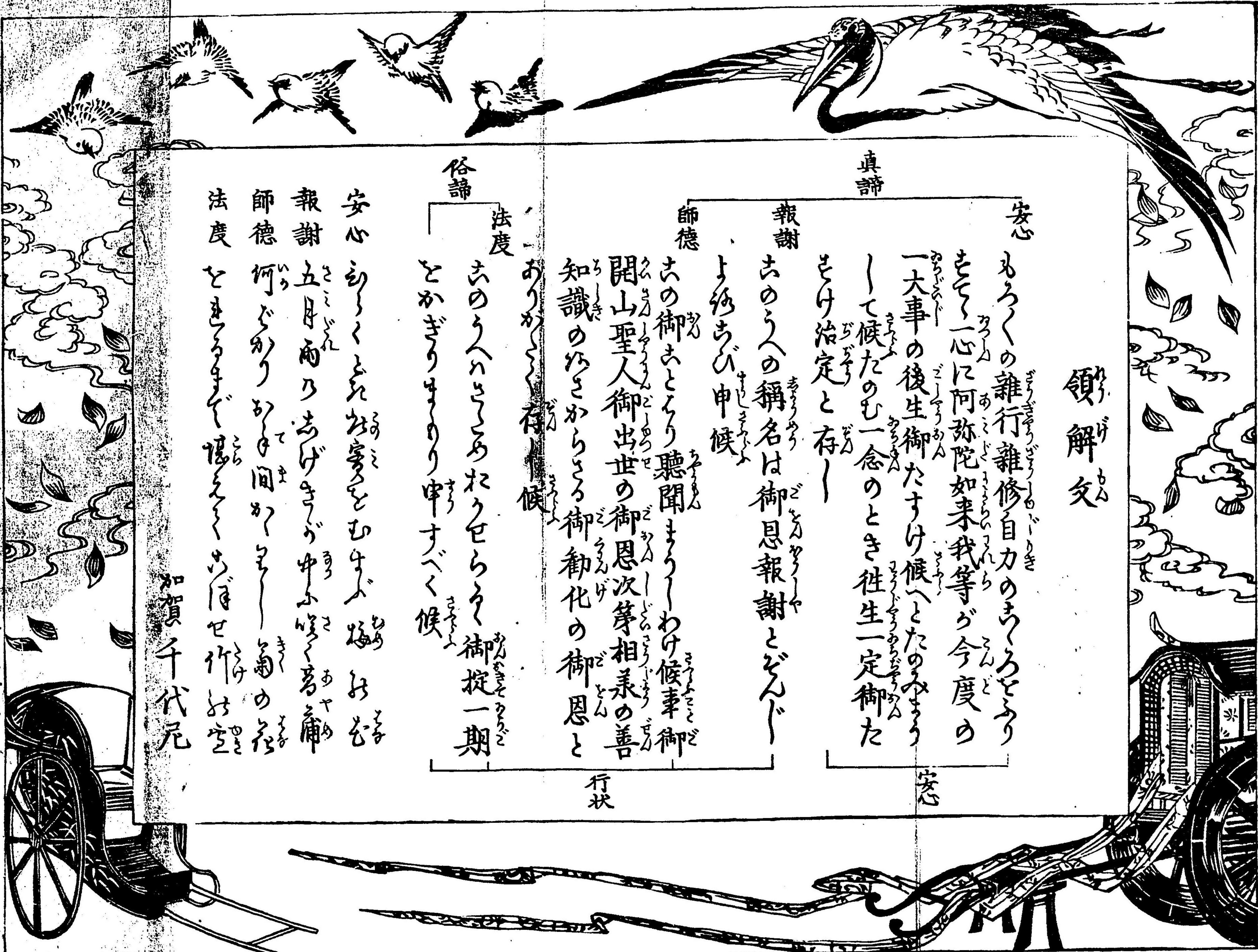
俗諦

法度

おのうへのまごころり御掟一期  
とかがりまごころり申すべく候

安心  
おのうへのまごころり御掟一期  
報謝  
五月あひまごころり申すべく候  
師徳  
何ごころり申すべく候  
法度  
とかがりまごころり申すべく候

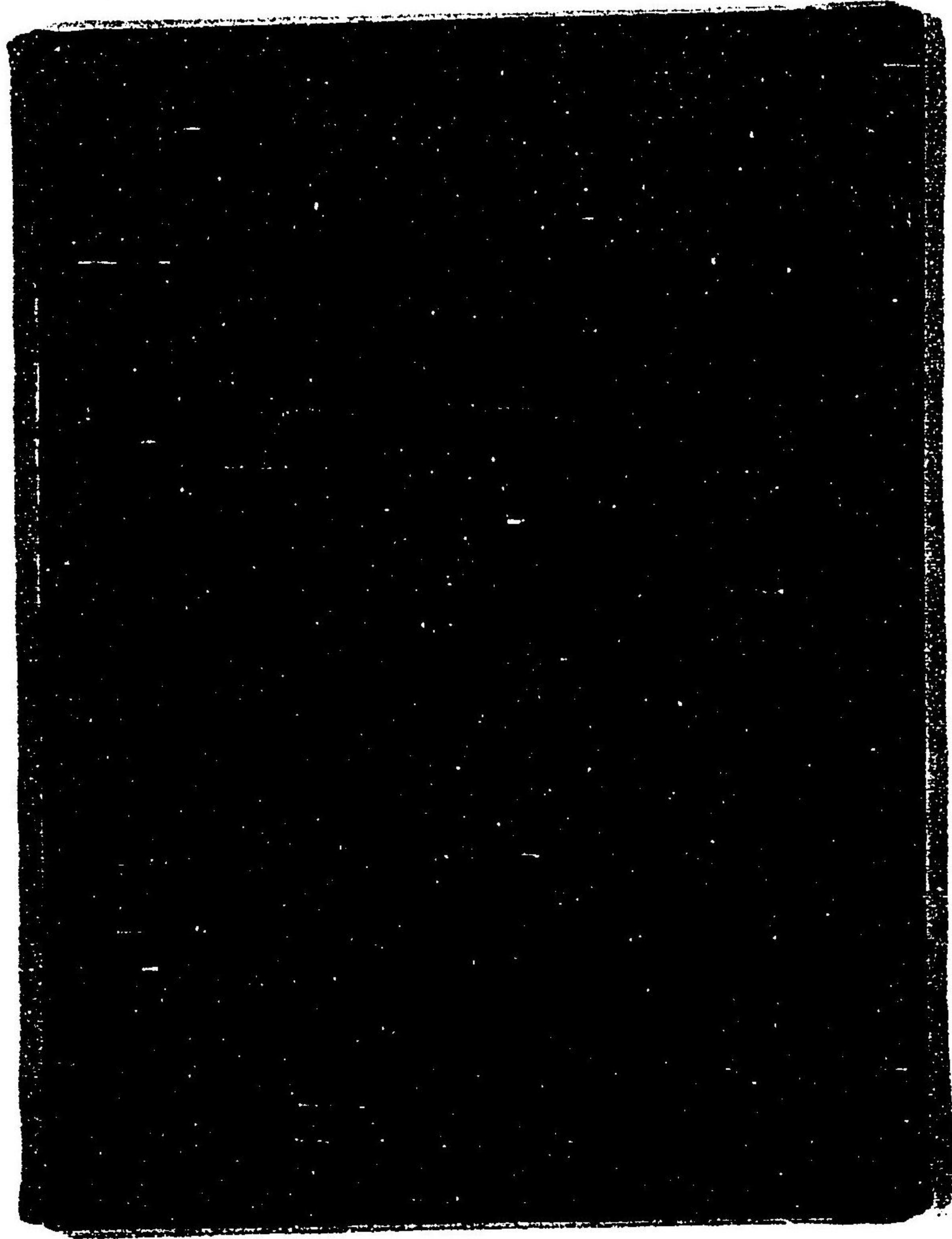
加賀千代尼

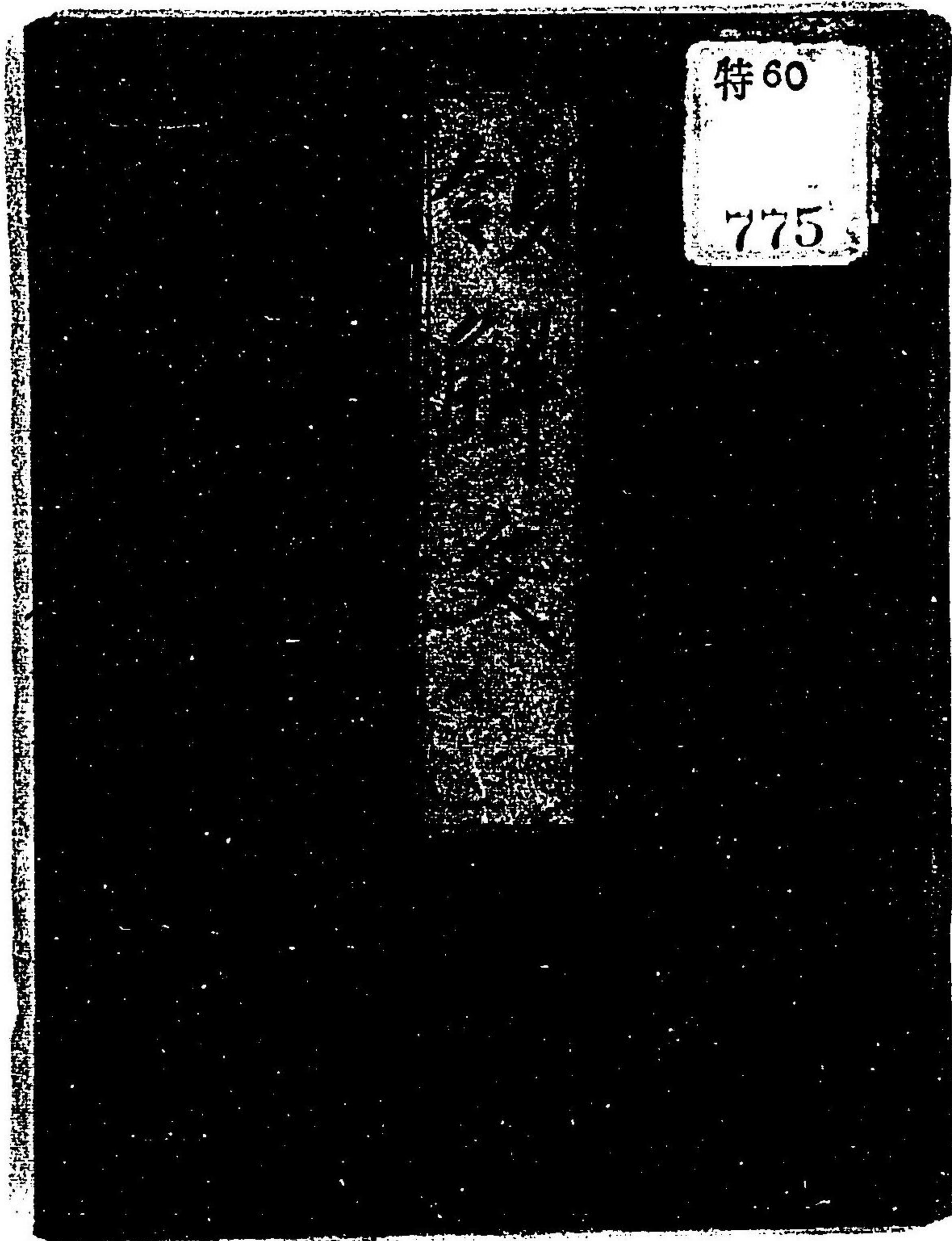


明治十四年六月廿日出板神尾  
同年同月刻成

大分縣平民 編輯者 曜日僧純 定價金三錢五厘

出板人 川波守助 京都府平民 大分縣下津國西國東郡東里五村七首番地光徳寺住





019235-000-7

特60-775

領解文

曜日僧純／編

M14.6

ABF-2832

